



2015  
夏季号

# ほっと石川

特集

いしかわの文化の  
裾野を広げ、  
さらなる高みへ。

輝け! 石川の星

陸上選手(競歩)

鈴木雄介さん



特集  
いしかわの文化の裾野を広げ、  
さらなる高みへ。…………… 2

豊かな森を  
未来へつなごう！……………10

知事の窓……………12

ほほえみ 石川のボランティア  
麗人会石川県支部  
(金沢市)……………12

輝け！石川の星  
鈴木雄介さん…………… 13

ふるさとの歴史・文化を探る  
石川県  
西田幾多郎記念哲学館  
(かほく市)……………14

NEW!!  
ご当地グルメ  
能登井……………15

大自然迫る山岳ドライブへ  
白山白川郷ホワイトロード……………16

表紙について

■シリーズ  
いしかわの歳時記

輪島大祭(輪島市)

8月22日からの4日間は、輪島市が熱く燃え上がります。なぜなら、輪島に鎮座した女神と市内の男神が年に一度、再会する「輪島大祭」が開かれるからです。輪島塗を施した豪華なキリコが町内を練り歩く様子や、高さ約12メートルの松明に付いた御幣を奪い合う迫力は必見。能登の夏を彩る祭りの一つと言えます。今号の表紙からは、そんな輪島大祭のような「いしかわの歳時記」を、鮮やかな切り絵作品で紹介していきます。もちろん、本誌の中にも、注目してほしい旬のトピックが満載です。ぜひご覧ください。

表紙切り絵制作 / さぶさちえ(金沢市出身)

# いしかわの文化の 裾野を広げ、 さらなる高みへ。

石川県の大きな特色として輝きを放つのが、長年にわたって育まれてきた「文化」です。県では今年4月、この豊かな文化を未来へと継承し、さらに発展させていくため、「いしかわ文化振興条例」を施行しました。「石川の文化には何があるの?」「文化振興条例は何を定めているの?」今回のほっと石川では、そんな疑問に石川県のことを知り尽くした「ひゃくまん博士」が答えます。

## 石川の風土と歴史が 育んだ多彩な文化

お父さんが「石川県の文化は奥が深いぞ」と話してました。博士、石川県の文化にはどのようなものがあるのですか。

これだけいろんな文化が育まれてきた理由は何ですか。

石川県にはさまざまな文化があるぞ。能楽や邦楽などの伝統芸能をはじめ、輪島塗や九谷焼など世界に誇る伝統工芸、「かぶらずし」「こんか漬け」などの発酵食や加賀料理に代表される食文化など、その範囲は実に幅広い。日本遺産に登録された能登のキリコ祭りをはじめとした各地に伝わる祭りや行事、輪島の海女の伝統的な素潜り漁なども、大切な石川の文化と言えるじやろう。もちろん、歴史のあるものだけではない。県立音楽堂を拠点としたオーケストラ・アンサンブル金沢の活動など、県内には新たな文化も根付いているんじや。

そこには気候や自然といった風土と歴史が大きく関係している。例えば、里山里海に囲まれた能登では、「あえのこと」など、その恵みに感謝する伝統行事が数多く営まれている。江戸時代に江戸、大坂、京都に次ぐ大都市だった金沢では、加賀藩が文化奨励策に力を入れ、九谷焼や金箔などの工芸が発展し、「加賀宝生」と称されるほどになった能楽をはじめとした伝統芸能も受け継がれてきたんじや。

石川県だからこそ、つながり発展してきた文化を、未来にもしっかりと伝えていかない

石川県の大きな特色として輝きを放つのが、長年にわたって育まれてきた「文化」です。県では今年4月、この豊かな文化を未来へと継承し、さらに発展させていくため、「いしかわ文化振興条例」を施行しました。「石川の文化には何があるの?」「文化振興条例は何を定めているの?」今回のほっと石川では、そんな疑問に石川県のことを知り尽くした「ひゃくまん博士」が答えます。



石川県ではいろんな取り組みで、文化を支えているんだね。

ふるさとは多種多様な文化があふれているんじやよ。

ひゃくまん博士  
文化はもちろん、産業や歴史など長年にわたって石川県と研究しています。趣味はクラシック音楽鑑賞。

まつちゃん としくん  
元気いっぱいの小学生。夏休みの自由研究で、ふるさとの文化について調べています。

その通りじや。石川県では、石川ならではの伝統芸能の第一人者を「いしかわの至宝」、海女漁の伝統的な技術を受け継ぐ皆さんを「いしかわ里海の至宝」に認定するなど、文化を次の世代に引き継ぎ、発展させることに力を入れてきたんじや。この4月にスタートした「いしかわ文化振興条例」もそんな取り組みの一つと言える。その中身を4ページから詳しく見ていこう。

といけませんね。

## 教えて先生!

### 時代が求める “文化の力”

水野 一郎 先生  
金沢工業大学教育支援機構顧問

条例の策定にあたって、アドバイスをいただいた金沢工業大学教授の水野一郎さんに文化振興に取り組む重要性について聞きました。

洋服を買う際、「この服を着れば、寒さがしのげる」という視点だけで選ぶ方はあまりいません。形や色など、きっとデザイン性を重視されると思います。食事をするときも、お腹を満たすだけでなく、おいしいかどうか、何が食べたいかで選んでいるはず。つまり現代社会では、生活に必要な最低限のものではなく、デザインやおいしさなどの付加価値が求められています。

そして、デザインなどの価値を考えるのは、“文化の力”です。



文化と言っても、その範囲は幅広く、芸術はもちろん、地域の慣習やなりわい、自然環境など多岐にわたります。これら生活を豊かにする文化が、付加価値を創造する源になります。

県内には、長年にわたって守り育んできた独自の文化が数多くあります。これらを糧に、今の時代の美意識や価値観を表現することがとても重要だと考えています。

# 全国初の 取り組みいろいろ 「いしかわ文化振興条例」 スタート

今年も同じように  
進んでいきます

継承・発展を目指した  
文化振興施策のよりどころ

さまざまな  
文化活動を応援  
しています



芸術の秋に  
文化イベント  
企画中

「いしかわ文化の日」  
(10月第3日曜日)  
「いしかわ文化推進期間」  
(いしかわ文化の日～11月3日)  
を設置

「いしかわ文化振興条例」では、10月第3日曜日を「いしかわ文化の日」に定めています。「いしかわ文化の日」は、家族で文化を鑑賞したり、体験したりすることで家族の絆を深めてもらうとともに、県民の文化への理解を深めることが目的です。さらに、11月3日の文化の日までを「いしかわ文化推進期間」とし、趣向を凝らしたさまざまな文化イベントを集中的に開催します。

この4月に始まった「いしかわ文化振興条例」は、どんなことを定めたのですか。

文化振興条例では、「芸術」や「伝統芸能」「伝統工芸」といった、これまでも文化として認識されてきたものに加えて、全国で初めて、「食文化」、さらには「祭り」や「海女文化」といった地域固有の「ふるさと文化」に至るまで、特色ある幅広い文化の全てを石川の誇るべき文化として位置付けたんじや。

さらに、県民の文化意識の向上を図るために、「いしかわ文化の日」と

「いしかわ文化推進期間」を設けたり、文化を観光資源として活用することを規定したりするなど、他の条例にはない独自の取り組みもたくさん盛り込んでいます。

今後は、文化振興施策のよりどころとして、文化の担い手である県民や文化団体を中心に、県市町、大学などの高等教育機関が一体となって、石川の文化の発展に向けて取り組んでいくんじや。



でか山が練り歩く七尾の青柏祭など、県内には多様な祭りが伝わっています



担い手の育成に力を入れる九谷焼技術研修所



輪島に伝わる海女漁



田の神に収穫を感謝する奥能登のあえのこと。平成21年にユネスコ無形文化遺産に登録されました

## 5つの柱を軸に推進 いしかわ県民文化振興基金も創設

条例をもとに、これからどんなことに力を入れていくんですか。

それを示したのが、「文化振興施策」じやな。その方向性として5つの柱を掲げている(下記参照)。その中身は、伝統芸能や伝統工芸の担い手の育成、子どもの文化に触れる機会の充実、文化の魅力を国内外に発信す

るなど、実に多彩な内容となっているぞ。

全国最大の120億円で創設した「いしかわ県民文化振興基金」も、そのひとつと言えるじやろ。

県では今後、基金を活用し、石川の文化の担い手である県民や文化団体の皆さんの多彩な文化活動を積極的に後押ししていくんじや。

文化振興施策  
5つの柱

### 1 石川の優れた文化の継承と発展

音楽、美術、演劇といった芸術や、江戸時代以来培われてきた伝統芸能、伝統工芸、生活文化など、石川の優れた多様な文化を、次の世代に継承し、さらに発展させていきます。

### 2 文化に親しむ環境づくり

全ての県民が文化に親しむことができるよう、県民の文化意識の向上や、文化に親しむ機会の充実、文化施設の充実・活用促進に取り組めます。

### 3 文化による地域づくり

県内各地域の地域固有の文化(ふるさと文化)を、地域の誇りとして継承・発展させ、その活用により、地域が活性化するように力を注いでいきます。

### 4 文化の交流と発信

石川に息づく本物の文化の魅力国内外に広めるため、文化を通じた交流と情報発信に積極的に取り組めます。

### 5 文化を支える仕組みづくり

文化振興を推進するための体制の整備や、財源の確保を進めています。



外国人の筆の体験 (石川国際交流ラウンジ)



お旅まつりの曳山行事 (小松市)



企画展鑑賞 (県立美術館)



金沢芸妓の舞

## 教えて先生!

県民の美意識が  
大きな支え

大場 吉美先生  
金沢学院大学美術文化学部教授

文化振興施策の大きなテーマの一つが、「伝統工芸の継承と発展」です。金沢学院大学教授の大場吉美さんに石川の工芸の特色などについて聞きました。

県内には、輪島塗や加賀友禅など36品目もの伝統的工芸品があります。これらはすべて生活道具として生まれ、美的な感性が盛り込まれたものです。ですから、伝統工芸は私たちの暮らしに身近な産業として発展してきたと言えます。一方で、県内の伝統工芸産業の出荷額は縮小傾向にあり、担い手不足に悩む品目もあります。ただ、厳しい状況の中にあっても、若い職人さんを中心に現代の暮らしにマッチするデザインを生み出すなど、新たな輝きも見え始めています。



県内には、人間国宝など、伝統工芸の頂点で活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。そんな世界を支えているのは、生活道具として伝統工芸を使ってきた県民一人ひとりです。裾野が広いからこそ高い山ができます。これからも、伝統工芸を暮らしに取り入れ、豊かな生活文化を楽しんでいきたいものですね。



# キリコ祭りが 日本遺産に!



文化庁が今年度スタートした「日本遺産」の第1弾に、県と能登の6市町が申請した「灯り舞半島能登～熱狂のキリコ祭り」が認定されました。ふるさと文化を代表する能登のキリコ祭りについて、輪島市のキリコ会館元館長で県観光スペシャルガイドの藤平朝雄さんにお話を伺いました。



藤平朝雄さん

県観光スペシャルガイド・  
ほっと石川観光マイスター

## 年に1度の祭礼が 地域の絆を深める

7月～10月に能登の約150カ所で開かれるキリコ祭りは、地域の絆を深める上でとても重要な役割を果たしてきました。なぜなら、キリコは老若男女問わず、地域の人たちが総参加で担ってきたものだからです。男たちはキリコを担ぎ、子どもは笛や太鼓を奏でます。家では友人や親族を招くヨバレがあり、女性たちはもてなしのごちそうを用意します。そして、都会に出て行った人たちも、年に1度の祭りにはふるさとに帰ってくるのです。

また、能登の祭りはどれだけ観光客が増えても、イベントとなることなく、あくまでも地域の祭礼として営まれている点も魅力です。疫病の追放、七夕祭り、半年のけがれをはらう夏越しの神事、収穫への感謝と、それぞれの祭りで目的は異なりますが、いずれも神仏への深い祈りがあり、その本質は変わりません。能登の文化を象徴するキリコ祭りが日本遺産に認められたことは大変うれしく、認定を機にさらに地域の活力につながってほしいと思います。



シンガポールで開いた食文化提案会には現地のトップシェフなどが参加。石川の食文化に感嘆の声が上がりました

気軽にクラシック音楽に触れられるラ・フォル・ジュルネ金沢



体験・体感型にリニューアルした県立歴史博物館 (詳細は8ページ)



小中学生が伝統芸能を鑑賞・体験する古典芸能鑑賞教室



# 私たちが 県民一人ひとりが 文化の担い手

博士文化を後押ししていることの大切さは分かりました。でも、「伝統芸能」「伝統工芸」など聞くともっと難しく感じる。もしかしたら、そう思っている人は多いかもしれないね。だけど、文化は特別な人だけのものではなく、誰もが気軽に触れられるものだと思うんだ。県では、一流アーティストの演奏を気軽に鑑賞できる「ラ・フォル・ジュルネ金沢」、古典芸能やオーケストラの子ども向けの鑑賞教室を開催したりするなど、あらゆる世代や立場の人たちが文化に気軽に親しめるように取り組んでい

るんじやよ。まずは一歩、踏み出してみることが重要なですね。

世代や立場を越えて  
みんなで支えていこう

そうなんじや。県内には、美術館や博物館なども多く、ふるさとの多彩な文化を発信しておる。これらの施設に出かけて楽しみながら、石川の文化に触れてみるのもおすすめじゃ。そして、伝統芸能や伝統工芸、ふるさと文化に携わる人だけでなく、私たち県民一人ひとりが担い手だという思いを持つことが、豊かな文化を支え、発展させていく道につながると思うぞ。

次代の担い手たちが活躍中!

次代の担い手たちが  
活躍中!



県内には、これからの伝統芸能や食文化などを担っていく若い世代も多く、さまざまな取り組みを通して、文化の普及や発信に力を注いでいるんじや。



たかぎしんいちろう  
高木慎一郎さん

料亭  
「銭屋」主人

## 石川の食文化を海外へ

海外では、すしや天ぷらといった日本食の知名度は高いものの、加賀料理などの郷土料理はまだ知られていないのが実情です。そんな中、高木慎一郎さんは世界各地をめぐる、実際に加賀料理を振る舞っています。昨年10月には、県がシンガポールで開いた「石川の食文化提案会」に参加。伝統と時代に合った新しさを取り入れる加賀料理の奥深さで、多くのゲストを魅了しました。

「料理は食文化だけでなく、盛り付ける九谷焼など石川の工芸もトータルに発信できます」。高木さんはこう言葉に力を込め、料理を通した石川の文化の発信に情熱を傾けています。



ふじまきこじろう  
藤間寿さん

日本舞踊家  
(ことぶき会主宰)

## 工夫を凝らした教室開催

2代目藤間勤寿さんのもとで修行に励み、現在は宗家藤間流八世藤間勤十郎さんとともに舞踊公演の舞台に立つなど、金沢を拠点に全国で活躍する藤間寿さん。平成5年からは、子どもたちに文化に触れてもらうために県が企画する古典芸能鑑賞教室にも協力いただいています。

核家族化が進む今では、伝統芸能に全く触れたことのない子どもも増えているので、「まずは伝統芸能を楽しんでもらうのが第一です。体験を増やしたり、話す内容を変えたりするなど、工夫を凝らしています」と藤間寿さん。興味を高める教室の開催に知恵を絞っています。



小学生や中学生など対象に応じた体験プログラムを実施しています



なかしまきょうすけ  
中島恭介さん

能楽師  
狂言方

## 保育園で謡に触れ狂言の世界に

普段は一般企業の会社員として働く中島恭介さんですが、週末にはその姿は一変。はかま姿となり、県内最年少のプロの狂言師として県立能楽堂などの舞台に立っています。中島さんが狂言を始めたきっかけは、保育園児のときに謡を習ったことでした。小学生のころには「加賀宝生子ども塾」などに通い、小学5年生のときに和泉流狂言師の能村祐丞師に弟子入り。この春、大学卒業と同時にプロ入りしました。

現在は子ども塾を手伝うことも多く、「狂言をしっかり受け継ぎ、次代へとつなげていきたいですね」と話しています。



金沢能楽会では毎月、定例能を開催。中島さんも狂言師として出演しています



たてしままきの  
藤舎真衣さん

笛奏者  
(一声会主宰)

## 茶屋街のカフェで横笛を披露

藤舎真衣さんは、洋楽のミュージシャンと共演するなど、多彩な舞台上で活躍中。平成22年からは金沢の主計町茶屋街にあるカフェで、週末を中心に横笛や箏、ピアノなどの若手演奏家の発表の場を企画しています。観光客には金沢の風情を感じてもらい、地元の方からは音楽に親しみ、応援してもらうよい機会となっています。

「かつて『空から謡が降ってくる』と言われた金沢らしく、音楽がいつもあふれる街並みになることを夢見ています」と藤舎さん。7月からは一般の方向けの体験教室も始めていて、留学生や地元の方が邦楽に気軽に触れられる場を提供しています。



藤舎さんは笛のオリジナル曲作りにも積極的。カフェで新作を披露し、若手の指導にも力を入れています



リニューアルで  
展示内容を一新  
体験・体感型  
ミュージアムに

いしかわ赤レンガミュージアム  
**県立歴史博物館**  
金沢市出羽町3-1  
TEL 076 (262) 3236  
開館時間/午前9:00~午後5:00  
(入館は午後4:30まで)  
休館日/年末年始、展示替期間  
入館料(常設展)/  
一般300円、大学生240円、高校生  
以下無料  
※フリーゾーンは無料。加賀本多  
博物館との2館共通券は一般  
500円、大学生400円



高低差22メートルの  
大名庭園  
週末には  
ライトアップ

石川県金沢城・  
兼六園管理事務所  
金沢市丸の内1-1  
TEL 076 (234) 3800  
開園時間/午前7:00~午後6:00  
(10月16日~2月末日は  
午前8:00~午後5:00)  
※玉泉庵の呈茶(720円)は午前9:00  
~午後4:30(最終受付午後4:00)  
※ライトアップは金曜・土曜などの  
日没~午後9:00  
入園料/無料

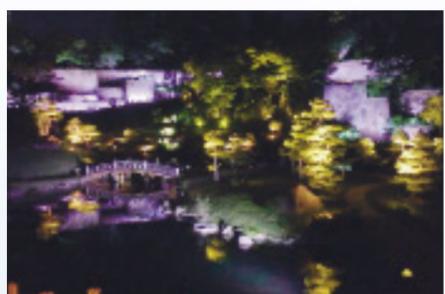
県立歴史博物館は今年4月、「いしかわ赤レンガミュージアム」の愛称でリニューアルオープンしました。国の重要文化財にも指定されている3棟の赤レンガ建物は、「歴史発見館」「交流体験館」「加賀本多博物館」に分かれ、リニューアルを機に模型や映像で歴史をより楽しめる施設になりました。

どことなく見どころが満載です。8月23日までは北陸新幹線金沢開業を記念した夏季特別展「大鉄道展」を開催しています。夏休みの特別企画として、鉄道模型の運転体験や手こぎトロッコの乗車体験など、ご家族そろって楽しめるイベントも開催していますので、ぜひお越しください。



重厚な赤レンガ建物が並び立つロケーションは写真撮影スポットとしても人気です

城下町金沢のシンボルとして復元整備が進む金沢城公園に今年3月、玉泉院丸庭園がお目見えしました。この庭園は、加賀藩3代藩主・前田利常が2代藩主・利長の正室「玉泉院」の屋敷跡に作庭を始めた大名庭園です。県では、発掘調査や絵図などをもとに、色紙短冊積石垣などの趣向を凝らした石垣を庭の一部に取り込んだ高低差22メートルの立体的な池泉回遊式の庭園を再現。池の周りを巡りながら、他には類をみない江戸時代後期の姿を楽しめます。



灯りで昼間とは違った庭園の美しさを演出

また、園内には休憩所「玉泉庵」が設けてあり、庭園を觀賞しながら抹茶とオリジナルの上生菓子を楽しむこともできます。毎週金曜・土曜の夜には、「大名庭園の灯りの絵巻」と銘打ったライトアップが楽しめます。音と灯りの演出で、来園者をもてなしています。

# 夏休みは兼六園周辺文化の森で 石川の文化に触れてみよう！

兼六園を中心とした「兼六園周辺文化の森」には、美術館や博物館など多岐にわたる文化施設が集まっています。その中には、リニューアルオープンしたばかりの注目の施設もあり、夏休みの限定の特別イベントも開催しています。家族や友人と一緒に、足を運んでみてはいかがでしょうか。



多彩な展示を実施  
子どもと一緒に  
参加できる  
夏休み企画も

**県立美術館**  
金沢市出羽町2-1  
TEL 076 (231) 7580  
開館時間/午前9:30~午後6:00  
(観覧券の販売は午後5:30まで)  
休館日/年末年始、展示替期間  
入館料(常設展)/  
一般360円、大学生290円、高校生以下無料  
※毎月第1月曜はコレクション  
展示が無料  
※企画展開催時は別途料金を  
定めます



狂言・能を  
解説付きで上演  
伝統芸能に  
親しむ第一歩に

**県立能楽堂**  
金沢市石引4-18-3  
TEL 076 (264) 2598  
開演/午後6:30(午後5:30  
開場) 終了時刻は午後  
8:30ごろを予定  
※公演内容などの詳細は金沢  
能楽会ホームページ(www.  
kanazawanohgakukai.jp)  
をご覧ください

陶磁器や漆工、絵画、書など、多種多様な石川の美が集結する県立美術館では、9月8日まで多彩なコレクション展示を企画しています。館内の前田育徳会尊経閣文庫分館では、「花鳥の美」をテーマに『鳥画帖』や『鷹狩図絵巻(夏の巻)』といった貴重な作品を展示し、第2展示室は日本の美術史に大きな足跡を刻む「琳派」、第5展示室は「石川の工芸」にスポットを当てています。また、夏休みの「親子で楽しむ美術館アートde暑中見舞い」も9月8日まで開催していて、涼しさを感じ



国宝をはじめ多彩な美術を鑑賞できます

たり、夏にちなんだ作品を子どもと一緒に楽しめる内容になっています。もちろん、京焼の祖とされる野々村仁清作の国宝『色絵雄香炉』など、常設展示も見どころが満載です。美術に親しむ1日を、県立美術館でお過ごしください。

県立能楽堂では7月~8月の毎週土曜、夏の恒例イベントとなっている「観能の夕べ」が開かれています。「観能の夕べ」は毎回、狂言と能を上演しており、6ページに登場した狂言師の中島恭介さんも7月の鑑賞会に出演しました。

石川県は能楽の中でも特に宝生流という流派が盛んな土地で「加賀宝生」と呼ばれるほど根付いています。「観能の夕べ」は、そんな能楽の世界に親しんでもらうイベントで、公演前には分かりやすい解説があり、能を初めて鑑賞される方も楽しめるようになっています。各公演は、一般



「観能の夕べ」で狂言・能の面白さを実感できます

## 石川 四高記念 文化交流館

8/23まで開催  
怪談えほん原画展

石川四高記念文化交流館内の石川近代文学館では、暑い夏を少しでも涼しく過ごしてもらおうためのイベント「怪談えほん原画展」を開催しています。このイベントでは、岩崎書店刊行の「怪談えほん」の原画を公開します。さまざまな作品を通して、不思議な世界をご覧ください。



金沢市広坂2-2-5  
TEL 076(262)5464  
開館時間/午前9:00~午後5:00  
(入館は午後4:30まで)  
休館日/年末年始  
入館料/一般360円、大学生290円、高校生以下無料

ナイトギャラリー  
期間/7月~10月  
毎週金、土曜日の開館時間延長  
延長時間(午後5:00~午後9:00)  
の入館料は無料

## 県立 伝統産業 工芸館

8/15・16に  
金箔箔貼り  
体験実施

伝統産業工芸館では、毎週土曜・日曜や祝日に伝統工芸士などを招き、制作実演や体験を行う特別コーナーを設置しています。8/15・16にはプレートへの金箔箔貼り体験ができます。百万石の城下町を象徴するきらびやかな箔の世界をご体感ください。



金沢市兼六町1-1  
TEL 076(262)2020  
開館時間/午前9:00~午後5:00  
(入館は午後4:45まで)  
休館日/4月~11月は毎月第3木曜、12月  
~3月は毎週木曜および年末年始  
(祝日の木曜は除く)  
入館料/1階無料、2階大人260円、65歳  
以上200円、17歳以下100円  
体験料/金箔箔貼り体験800円

●問い合わせ  
県文化振興課 TEL 076 (225) 1371

# インタビュー ホづくり活動 展開中!

県内では、県産材の消費拡大に向け、さまざまな取り組みが進んでいます。活動の先頭に立つお二人にお話を聞きました。

## コマツと提携し、残材を ボイラー燃料に活用

残材を乾燥させて3500トンのチップを作り、燃料として消費される予定です。将来的には現在の約2倍を燃料化する計画です」と話すのは、県産材の



コマツでは熱利用効率を高めた最新型のボイラーを導入

県森林組合連合会、コマツ、県では、昨年2月に「林業に関する包括連携協定」を結び、森林資源の活用策を展開しています。その取り組みの第一弾として動いているのが、「木質チップ生産施設整備事業」です。これは、根元の曲がったものや先端の細いものなど、製材として使えないからと、これまで森に放置されたままになっていた「残材」を木質チップに加工し、それをコマツ栗津工場のボイラー燃料として活用するものです。ボイラーで燃やして発生した蒸気を使って発電したり、熱交換器を通して冷暖房に利用したりしています。「今年



ありかわ こうぞう  
有川 光造さん  
県森林組合連合会相談役  
(前会長)

6200トンのチップを乾燥させて3500トンのチップを作り、燃料として消費される予定です。将来的には現在の約2倍を燃料化する計画です」と話すのは、県産材の供給側として同事業をリードしてきた有川光造さんです。これにより加賀地区では多くの残材が木材チップとなり、森林の管理状況の改善につながっています。また、この事業は企業側にとってもメリットが大きく、ボイラー燃料を重油だけからまわっていた時に比べ、購入電力量や排出する二酸化炭素量を大幅に削減できます。また、残材を木質チップに加工する機械も県内メーカーが開発したもので、有川さんは「供給、加工、消費すべてを県内で行うエネルギーの地産地消であり、「石川モデル」と言えます」と胸を張ります。

## 山林の境界管理や担い手の育成に注力

「所有者が不明確なままだと、いざ森林を活用しようとしても手がつくれません」と門村さん。現在でも、金沢市や津幡町、かほく市といった金沢森林組合管内で境

全国植樹祭いしかわ2015で、長年にわたって緑化の推進に力を注いできた「緑化功労者」の表彰があり、県内から金沢市在住の門村和永さんが農林水産大臣賞を受賞しました。門村さんは林業を営む家に生まれ、昭和40(1965)年に金沢市森林組合の職員となり、長年にわたって森林資源の活用に向けた多彩な取り組みを推し進めてきました。例えば、その一つが山林の境界を確定する事業です。以前は、ナラやクヌギは黒炭として利用し、タケノコの出荷量も多かったため、山林に人の手が入り、管理が行き届いていました。しかし、現在は手入れ不足の森林が増え、所有者の境界が分りにくくなっている箇所も少なくありません。そこで、門村さんは、平成18年から国のモデル事業として、GPS(衛星利用測位システム)を用いた境界の確定を進めています。「所有者が不明確なままだと、いざ森林を活用しようとしても手がつくれません」と門村さん。現在でも、金沢市や津幡町、かほく市といった金沢森林組合管内で境



平成26年度 緑化功労者  
かどむら かずなが  
門村 和永さん  
県森林組合連合会会長

界管理に取り組んでいます。林業に携わる人の育成にも積極的に、平成21年の金沢林業大学の設立にも力を注ぎました。同校では、2年間のカリキュラムで伐採やシイタケの栽培などの実践力を磨き、これまでに40人以上が卒業しています。さらに、今年6月には県森林組合連合会会長に就任。機械化による生産コストの削減や市場を介さず直接供給できるようにする流通面の改善などに力を入れていきます。「県産材を安定して供給できる体制を築き、林業の振興につなげるため、県内4力所の森林組合の統合を目指しています」。門村さんはこの意気込み、県産材の利用拡大をリードしています。



門村さんは、林業経営の安定に全力を注いでいます



# 豊かな木林を未来へつなぶ！ 5月の全国植樹祭で森林の利活用を発信

全国植樹祭では、天皇后両陛下がお手植え・お手播きをされるなど、緑の大切さを石川から全国に向けて発信しました



温かみのある県産材を使った遊具を製作しています



しょうゆの仕込み用樽に県産材を活用しています



人の手が入り、管理することで、森林は健全な状態が保たれます

### 県産材を生かす 多彩な取り組み を推進

県土の約7割を占める森林は、木材の生産だけでなく、水を蓄えたり、洪水や土砂崩れを防いだり、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止したりするなど、さまざまな働きにより私たちの暮らしを支えています。この豊かな森を次世代へと受け継いでいくことは、私たちの大きな責任と言えます。こうした中、5月には、天皇后両陛下にご臨席いただき、「全国植樹祭いしかわ2015」を木場潟公園(小松市)などで開催しました。今大会のテーマは「木を活かし 未来へ届けるふるさとの森」。これまで植林に重点を置いてきた全国

植樹祭で初めて、森林資源の利活用の大切さを、全国に発信しました。現在の森林は、戦後に植えられた木が、木材として利用可能な段階にまで成長しています。さまざまな働きを持つ健全な森林を維持するためには、間伐や間伐材の活用を進めることが大切です。そこで県では、県産材の利用をさらに進めるため、住宅や公共施設などに県産材を取り入れた際に補助金を交付したり、箸や遊具、家具などに県産材を使う「いしかわ木づかい製品利用促進運動」を展開したりするなど、さまざまな活動に取り組んでいます。県産材の消費を拡大し、管理の行き届いた豊かな森をつくり、未来へつなげていきます。

●問い合わせ  
県森林管理課 県産材利用促進グループ ..... TEL . 076 (225)1643



出典/平成27年3月16日付北國新聞朝刊

地元の声援を受け、全日本競歩能美大会で快挙を達成。「県内では輪島市でも競歩の全国大会が開かれています。競歩への関心を高め、ぜひ見に来てほしいですね」(鈴木選手)

# 輝け石川の星

FILE.06

## 地元で成し遂げた世界新記録を手に 8月23日、金メダルに挑む

陸上選手(競歩)  
鈴木 雄介さん

### Profile

昭和63(1988)年1月2日生まれ。辰口町(現能美市)出身。小学3年で陸上クラブに入り、中学2年から競歩を始める。小松高校卒業後、順天堂大学を経て富士通に入社。平成24年にロンドン五輪に出場し、26年のアジア大会では銀メダルを獲得した。

3月15日、前日に開業した北陸新幹線の熱気に包まれていた石川県内で、能美市出身の陸上選手・鈴木雄介さんが男子20キロ競歩の世界新記録を打ち立てました。記録を樹立した際の思いや今後の目標を聞きました。

### 関係者の笑顔に喜びを感じる

「1時間16分36秒」。これまでの記録を26秒更新し、日本男子としてはマラソンの重松森雄さん以来50年ぶりとなる世界記録は、鈴木選手が生まれ育ったふるさと能美市で開かれた「全日本競歩能美大会」で生まれました。「地元や関係者の皆さんの笑顔を見られたのがうれしかったですね」と、鈴木選手は記録達成の瞬間を振り返ります。

そんな鈴木選手の持ち味は、世界一美しいとされるフォーム。頭や上体がぶれず、無駄な動きがないため、スピードやス

### 3年連続の頂点を目指して

「ただ、個人的にはいいタイムは出せましたが、達成感はありません」と鈴木選手。その理由は、これから先の大きな目標をすでに見据えているからです。

「この夏、北京で開かれる世界選手権、来年のリオデジャネイロ五輪、2年後のロンドンの世界選手権と、3大会連続で金メダルを狙っています」。鈴木選手はこう意気込み、一層のレベルアップに余念がありません。

その一里塚となる世界選手権男子20キロ競歩の号砲が鳴らされるのは、8月23日午前9時30分。鈴木選手の活躍に注目してください。



世界記録樹立後、谷本正憲知事を表敬訪問。今後の活躍に県民の期待も高まります



## 文化が石川の光 気軽にふれてみませんか

例えば、お茶やお花、俳句や囲碁といった生活に密着した趣味や創作、娯楽がそうです。また、「まれ」でも放送されている、長い歴史や風土に育まれた芸能や工芸、祭礼、郷土料理、方言も、すべて地域を彩る文化なのです。

「えっ、それが文化なの」と意外に思われるかもしれませんが、石川を訪れる人には「すい」「面白い」「やってみたい」と新鮮に映り、興味のそそられる「宝の山」が目の前に広がっているのです。

この春、制定した「いしかわ文化振興条例」では、文化に親しむ環境づくりや文化による地域づくり、また「本物の文化」を求める観光客への情報発信にも力を入れています。ちなみに、観光の語源は古代中国の書物「易経」にある「国の光を観る」から。

石川の光である文化に磨きをかけ、世界を魅了するふるさと石川をつくる主役は、県民の皆さんです。肩の力を抜き、もっと気軽にふれてみませんか。

### smile 石川のボランティア

## ほほえみ

ビューティーケア  
ボランティアネットワーク  
いしかわ  
麗人会  
石川県支部  
(金沢市)

## ケアや化粧を通して 心を明るく前向きに

### 県内全域の施設を訪問

「麗人会 石川県支部」は、全国赤十字ビューティーケアボランティア連絡協議会に加盟するボランティア団体です。ビューティーケアとは、高齢者の方などの顔や肩、手をケアしたり、化粧をしたりする活動で、石川県支部では、講習を修了したスタッフが月に2回ほど、県内各地の福祉施設や地域サロンを回っています。また、毎月1回は定例会を開き、メンバーが集まって情報交換や技術の向上に励んでいます。



日常に潤いを与える活動が心のケアにもつながります



石川県支部は、一組の平足ビューティーケアネットワークとして10年に成り立っています

「いくつになっても女性はきれいでいたいもの。化粧をした後に、ぱっと表情が明るくなる方がたくさんいますよ」と教えてくれたのは、支部長の奥田美保さん。ケアを受けた後に、お友達とカラオケや買い物をしたり、お孫さんと食事に出かけた人なども多いそうです。「もちろん、皆さんの楽しそうな表情に私もうれしくなります」(奥田さん)とのことで、活動を通して笑顔のバトンが繋がっています。

●問い合わせ  
ビューティーケアボランティアネットワークいしかわ  
麗人会 石川県支部  
支部長 奥田 美保  
TEL 076 (237) 6221

県内のボランティアに関する情報は

石川県社会福祉協議会ボランティアネット





ご当地グルメ  
おいしさや  
地域を元気に



FILE.01

# 能登丼

1杯に里山里海の魅力ぎっしり

能登丼の魅力は1杯の丼の中に、豊かな里山里海が広がる能登のおいしさがぎゅつと詰まっている点でしょう。魚や貝、海藻といった近海でとれた海の幸をはじめ、滋味あふれる山菜やキノコ、口の中であける絶品の能登牛など、店ごとに多種多様な能登の食材を使っています。加えて、ご飯は地元産のコシヒカリ、器は珠洲焼や輪島塗などで、奥能登を存分に堪能できる内容となっています。

さらに、能登丼食べ歩き企画として、3店舗の能登丼を食べた方の中から抽選で毎月5名様に500円分の能登丼チケットをプレゼントするスタンプラリーを、7月から新たに実施しています。10月17・18日には、能登丼をはじめ全国各地のご当地丼が集結する「全国丼サミット」がいしかわ四高記念公園（金沢市）で行われます。

## ご当地グルメとセットでいかが？



主人公の希や同級生が集まる食堂のセットを再現

### 連続テレビ小説「まれ」ゆかりの地巡り

能登丼と一緒に、放送中の連続テレビ小説「まれ」ゆかりの場所を巡ってみてはいかがでしょうか。現在、「まれ」の舞台・能登を巡るスタンプラリーを実施するほか、のと里山空港では出演者の等身大パネルや再現セットなどを展示する「まれ」展を開催しています。詳しくは、連続テレビ小説「まれ」推進協議会ホームページ（[noto-mare.jp](http://noto-mare.jp)）をご覧ください。

好きなものはもちろん、能登丼。みんな食べに来てね。



## 能登丼

NOTO-DON



【食べられる場所】  
奥能登2市2町（輪島市、珠洲市、能登町、穴水町）の飲食店や旅館・ホテル50店舗

- 【定義】
- 1 奥能登産のコシヒカリ、水を使用
  - 2 メーン食材は地場でとれた旬の魚介類、肉類、野菜、または地元産の伝統保存食を使用
  - 3 能登産の器、箸を使用（箸はお客さまにプレゼント）
  - 4 健康、長寿、ヘルシーにこだわって調理
  - 5 オリジナリティーあふれる丼
  - 6 奥能登地域内で調理し、提供すること

夏はサザエやアワビ、カレイ、コチなどがおいしい季節です。ほかにも、魅力ある食材がたくさんあります。奥能登の味を食比べてみてください。

能登丼事業協同組合 理事長  
はしもと こうせい  
橋本 公生 さん

## ふるさとの歴史・文化を探る

### 石川県 西田幾多郎記念哲学館 （かほく市）

など、多彩な切り口から幾多郎の人間像に迫ることができます。また、館内には、すり鉢状の瞑想空間「ホワイエ」や四方を壁に囲まれた思索の空間「空の庭」など、考えを深められるスペースも少なくありません。303席を備えるホールや研修室もあり、誰でも気軽に参加できる哲学入門講座も開講しています。初めて触れる人から造詣の深い方まで、「哲学の世界」へと皆さんを誘う博物館です。

かほく市に生まれ、日本を代表する哲学者となった西田幾多郎。県西田幾多郎記念哲学館は、そんな彼の足跡はもろろん、哲学全般を幅広く学べる世界でも数少ない博物館です。開館から13年を迎えた今年3月には、北陸新幹線金沢開業に合わせ、展示内容を大幅にリニューアルしました。例えば、1階には、円・井戸・窓をシンボルに3つの考え方を学ぶことができる「哲学入門コーナー」があるほか、映像コーナーで幾多郎の生涯と代表的なエッセイに触れられます。2階の「西田幾多郎の世界」と題した展示室では遺品や原稿、書簡などを見ることが出来ます。ここでは、哲学者としてだけでなく、金沢大学の前身・四高で教壇に立った教育者としての顔や、家族・友人を通じた姿

### 幾多郎を通して、哲学の世界へ 世界的にもユニークな博物館

かほく市に生まれ、日本を代表する哲学者となった西田幾多郎。県西田幾多郎記念哲学館は、そんな彼の足跡はもろろん、哲学全般を幅広く学べる世界でも数少ない博物館です。開館から13年を迎えた今年3月には、北陸新幹線金沢開業に合わせ、展示内容を大幅にリニューアルしました。例えば、1階には、円・井戸・窓をシンボルに3つの考え方を学ぶことができる「哲学入門コーナー」があるほか、映像コーナーで幾多郎の生涯と代表的なエッセイに触れられます。2階の「西田幾多郎の世界」と題した展示室では遺品や原稿、書簡などを見ることが出来ます。ここでは、哲学者としてだけでなく、金沢大学の前身・四高で教壇に立った教育者としての顔や、家族・友人を通じた姿

▼ 幾多郎の愛蔵品や書などを公開する2階展示室



▼ 設計は世界的な建築家・安藤忠雄氏。建築デザインも見どころの一つです



▼ 1階の展示室は哲学を分かりやすく解説



### 交通アクセス



かほく市内日角井1  
TEL076 (283) 6600

- 開館時間／午前9:00～午後5:30（入館は午後5:00まで）
- 休館日／月曜（祝日の場合は翌平日が休み）  
年末年始、展示品の入れ替え期間
- 入館料／一般300円、65歳以上200円、高校生以下無料  
[www.nishidatetsugakukan.org/](http://www.nishidatetsugakukan.org/)

### “ふるさと”お宝キーワード 西田 幾多郎

#### 現代社会に生きる哲学を確立



西田幾多郎（写真左、1870年～1945年）は四高や東京帝国大学などで学び、京都帝国大学で哲学を教えました。ベストセラーとなった著書『善の研究』は、主観と客観を対立させた西欧の近代哲学とは一線を画し、世界でも高く評価されています。没後70年がたちましたが、決して過去の偉人ではなく、彼の言葉は現代を生きる私たちの心に強く働きかける普遍なものと言えます。

石川県西田幾多郎記念哲学館 館長  
おおき よしお  
大木 芳男 さん



大自然迫る山岳ドライブへ

# 白山白川郷 ホワイトロード



白山市の一里野から岐阜県の白川郷まで続く「白山スーパー林道」は6月、新たに「白山白川郷ホワイトロード」に愛称が変わりました。今年からは通行料金も従来の半額と、大変お得になっています。標高480mから1450mまでを走り抜ける山岳観光道路には、ブナの原生林やふくべの大滝など、見どころが満載。愛車のハンドルを握ってご家族やお友達と一緒に、世界遺産の白川郷を目指すドライブにぜひお出かけください。

**通行料金が半額に!**

普通車 従来 片道3240円 →  
片道 **1600円**  
(往復2600円)

軽自動車 従来 片道2610円 →  
片道 **1400円**  
(往復2200円)

※ 通行可能時間などはホームページをご確認ください。

### ★片道無料キャンペーン★

白山温泉郷や加賀温泉郷、辰口温泉、金沢温泉郷の協賛施設に宿泊された方は片道分の通行料金が無料になるキャンペーンを実施しています。

[問い合わせ]

■ 白山白川郷ホワイトロードについて  
白山林道石川管理事務所 / TEL 076 (256) 7341

■ 片道無料キャンペーンについて  
県観光振興課 / 076 (225) 1542

白山白川郷ホワイトロードHP  
<http://hs-whiteroad.jp/>

広告

私にとっての豊かな老後とは、  
子どもに迷惑かけずに生きることです。



リオリティ・シニアマンション

## スプリングライフ金沢

三谷商事グループの介護付有料老人ホーム



「天然温泉」※1  
掛け流しの大浴場と  
露天風呂。



朝昼晩、  
メニューを選べる  
お食事をご予約不要  
で毎日ご用意。※2



24時間体制での  
終身介護を実施。※3

資料請求・ご見学・体験入居のお問い合わせは

☎ **0120-132-871**

スプリングライフ金沢

検索

パンフレットを  
お送りします▶



ゆとりの「一般居室」と  
安心の「介護居室」

24時間の  
介護・看護体制。※3

終身介護をお約束。※4  
介護居室への住み替え費用も不要。

経験豊富なスタッフ&  
充実した共用施設。

※1 天然温泉：〔泉質〕ナトリウム、カルシウム塩化物強塩泉〔効能〕神経痛、関節痛、冷え性、慢性婦人病等  
当ホームの天然温泉は、泉温が高いので井戸水を加水しています。※2 写真は実際のお料理の一例です。※3  
夜間時(17:30~翌8:30)は看護職員1名・介護職員2名(最少人員各1名ずつ)の配置となります。※4 入居者の  
行動が、他の入居者又は、従業員の生命に危害を及ぼし、又は、その危害の切迫した恐れがあり、かつホームにお  
ける通常の介護方法及び接遇ではこれを防止することができないときは、契約解除となる場合がございます。

事業主体 / スプリングライフ金沢 株式会社 ※当社は三谷商事の100%出資による会社です。

石川県金沢市栗崎町4丁目80番地2 Tel.076-238-8000 Fax.076-237-2323 <http://springlife.jp/>  
(公社)全国有料老人ホーム協会 正会員 石川県指定介護保険特定施設(一般型特定施設) / 石川県指定第1770100012

前略 石川県知事

県政に対する  
ご意見・ご提言を  
お寄せください



住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、  
郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)  
石川県広報広聴室『前略 石川県知事』あて  
TEL 076 (225) 1362 FAX 076 (225) 1363

ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。  
県外在住のご協力者を紹介してください。

● 問い合わせ  
石川県県民交流課 TEL 076 (225) 1361  
[www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/](http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/)